

月刊
JMITU

デジノカ



—わな—

6月号

日本金属製造情報通信労働組合大田地域支部
セガ グループ分会 2025 年発行

No.486

参議院選挙に行こう！

自民党政治からの脱却

今年の2025年の参議院選挙は、7月3日公示・7月20日投票の日程で実施されます。

なぜ3連休のなか日にするのか、投票率を下げたいのかなど勘繰ってしまいましたが、今は当日でなくても期日前投票ができるので旅行に行く人などは事前に投票をすませばいいだけです。

今の与党自民党に対する不満はたくさんあります。

政治とカネの問題では、自民党派閥による裏金問題や政治資金規正法違反が大きな批判を浴びていますが、未だに「政治とカネ」の問題に対して解決につながっていない。

物価高と生活不安 ガソリン

や電気・ガス代の高騰、円安による物価上昇に対して、十分な対策が取られていない。特にここ最近のコメ問題では、コメの価格が前年より約70%近くも上昇していたにも関わらず、政府が備蓄米放出を決定したのは遅れたため、コメ不足が生じた。そもそも政府が備蓄しているお米は、国民の税金で購入・保管されています。これは、食料危機や災害時に備えて、安定供給を確保するための制度です。テレビでは、スーパーなどで備蓄米購入に並ぶ列などの報道がされ、2000円などで安いと言われていますが、税金で買った米を、またお金を出して買うのは二重取りではないという声も上がっています。

そもそもは、長年の減反政策など自民党の農政が価格の硬直性を生んでいるのではないか、

自民党の議員がJA関連団体から約1億円の献金を受け取っていたことも報じられ、備蓄米の放出を渋ったのはJAの利益を守るためではとの疑念も広がっています。

こうした不満の背景の中、先月の都議選では、自民党が過去最低の議席数に沈みました。

私たちが今一番求めることは、物価高への具体的対策で、円安やエネルギー価格の高騰により、生活費が圧迫されています。消費税の廃止や補助金の拡充など、即効性のある政策が求められています。どんなに賃上げをしても、引かれるものが多ければ私たちの生活は何も変わりません。

もう一つは、政治とカネの問題、裏金問題や政治資金の不透明

さに対する不信任が強く、領収書がなくてもいいなど通常の会社ではありえないことが許されています。政治資金規正法の改正や公開制度の強化で変えて欲しいです。

もう一つは防衛費です。2025年度予算案では、防衛費が前年比9.5%増となる一方で、社会保障や教育関連予算は実質マイナス、物価上昇に追いつかない、特に子育て支援や医療・介護の現場では、「予算が足りない」「人手不足が深刻」といった声が上がっています。教育や福祉を削ってまで軍備を増やすのは本末転倒です。外交や経済安全保障も含めた総合的な安全保障を考えるべきです。

まずは、政策を見て、分からないという方は今ネットで検索、自分の考えに合う政党はと調べ、投票に行きましょう！

掌編小説

無断専用駐車場

仙洞田一彦

鉄筋コンクリート造りのアパートの、二階の一番端の部屋に私は住んでいる。アパートは道路に並行して建てられている。道路と建物の間は五メートルくらい離れていて、道路際には金網が張りめぐられ、内側には木や花が植えられている。

建物の外れ、私の部屋の壁の外側部分には、大型トラックもとめられるほどの広さの空き地がある。空き地の道路側には柵がないので、出入りは自由にできる。アパートの所有者の土地だから、誰でも自由に駐車できるわけではない。アパートに住んでいる人

が、勤め先の自動車であって駐車するとか、アパート在住者に物を運んできた車とか、要するにアパート在住者に関係ある人以外は駐車してはいけない。道路側とは反対の、アパートの裏側は通路を挟んで公園になっている。

私の住むアパートはそろそろ半世紀。いきなり階段で、玄関らしいものもなければ、エレベーターもない。

道路の反対側は、アパートの建物と並行するように建てられたマンションがある。十数年前に建てられたものだ。玄関前は植え込みがあり、足元は石畳のような感じだ。外から見る限りだが、自動ドアを入ると玄関ホールがある。訪問先にインターホンで連絡して、さらに奥へ入るように

なっている。中庭が駐車場、駐輪場になっているが、自動車からの操作や、カードでシヤッターやドアが開くようになっていようだ。とにかく簡単には入れない。他者の侵入を防ぐ堅固な要塞、城だ。

私のベランダからマンションの玄関口が見える。左側に視線を落とせば、アパート脇の空き地の、道路寄りの部分も見える。

マンションに引越しがある時、マンション内に駐車できくらゐの広さがあるはずなのに、玄関前の道路に長時間停めて、荷物を運び入れている。一般道路で、小型のトラックでもスピードを落とし、通り過ぎるほどの道幅だ。左を見下ろしていると、アパート脇の空き地に自転車を

とめて、道路を横切りマンションに入って行く。マンションの玄関前に自転車数台どころかもっと置けるくらいの広さがあるのに、駐輪しない。玄関先が、掃除が行き届いてきれいだから、駐輪しにくいのだろうか。それとも管理人に自転車をとめないように言われているのだろうか。

さらに観察していると、マンションに用事があつて来ている人だけでなく、マンションの住人が、常時自転車をとめているようだ。駅の改札のようにカードをかざす必要がなく出入りできるのだから、マンションの駐輪場よりは便利かもしれない。

自分のところは出入りを厳しくし、他人の土地は出入り自由に勝手に利用。私はここ

の地主ではなく借りている身だから、何とも言えないが違和感はある。

ナンバーも記憶できるくらい、いつもとめている車も何台がある。自転車と同じで、車から降りて道路を横切り、マンションの玄関に入ってから分かる。定期的に来て、何時間も駐車している。二台、三台とまっている時もある。

アパートの住人に、家用車を持っている人がいるのかどうか知らない。正月や盆休みは、何日か駐車している車を見るが、家族の里帰りと思われる。

アパート脇の空き地が、マンションの駐車場みたいになってきた。マンションの住民の駐車場は、マンションの中庭にある。そこにとめられる

とは思うのだが。そうではないのか。とめる手続きが面倒くさいのか。マンションを建てた会社は、もともとこの空き地を、駐車場として計算に入れていたのではないか。遅かれ早かれ、住民が無断使用するのは、目に見えていたのではないか。そう勘繰りたくなる。

私は地主ではないと言っても、見て見ぬふりをするのは良くないかな。気になり始めると、駐車場の管理人ではないが、あの車は、あの自転車は、どこの人かな、などと疑ってみるようになる。

梅雨に入ったある日、空き地の道路側の真ん中に石が置かれ、その石に角材が結びつけられていた。角材の上に板が打ち付けられ、「無断駐車禁

止。無断駐車は警察に連絡します。責任者」と書いた紙が貼られていた。漬物石のようなのが三個、等間隔に置いてあった。漬物石は、車が入れないように、しかしアパート住民が駐車する場合には、持つて移動できるくらいの大きさだ。

ここに地主は住んでいないが、気になっていたのは私だけではなかったのだ。それにしても「責任者」とは誰か。地主でもなければ、自治会長でもない。「責任者は誰か」と問われても、住民の私でも答えられない。うまい名前を考えたいものだ。

びつくりしたのは、その表示後、脇の空き地に車をほとんど見なくなったことだ。かなりとまっているらしいとは

思っていたが、これほどとは思わなかった。

「XXXXXの運転手さん、車を移動してください」

数十分後、また、

「XXXXXの運転手さん、車を移動してください」

ベランダから見下ろしたら、パトカーがとまっていた。その前に車がとまっていた。衰えた耳にナンバーは聞き取れないが、その車は脇の空き地にしょっちゅうとめられていた車に似ていた。路上駐車だ。かつてここに、パトカーが来て呼び出しをやっていることなどなかった。

誰か警察に電話したのかな。私ではない。

そうだ「責任者」かも知れん。